

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 年 月 日

計画の名称	県民の生命と財産を守る港湾海岸津波対策（防災・安全）																
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）					交付対象	山形県										
計画の目標	将来、山形県日本海沖巨大地震等で発生が想定されるL1津波高さ（T.P.+m：地区海岸単位）に対し、現況の防護ライン高さが低い区間において防潮堤を整備するとともに、老朽化などで防護機能が低下している港湾海岸施設を補修補強することで、浸水被害を軽減させ、安全・安心な港湾海岸を実現する。																
計画の成果目標（定量的指標）	・防潮堤（陸囲含む）を整備することにより、防護ライン高さがL1津波設計水位（T.P.+m）より低い区間を解消する。 ・老朽化により防護機能が低下している港湾海岸施設を補修補強することで、背後地を確実に防護する。																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考						
						当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)									
						0%	63%	100%									
						0%	0%	24%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	356百万円	A	356百万円	B	0百万円	C	0百万円	その他関連する事業 (D)	0百万円							
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う						整備計画期間の翌々年度（最終年度繰越のため）											
						公表の方法											
						ホームページによる公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	R1	R2		
A09-001	海岸	一般	山形県	直接	山形県	高潮	-	加茂港海岸 防潮堤整備	胸壁 L=400m, 陸囲 N=1基	鶴岡市	■	■	■	■	■	226	
A09-002	海岸	一般	山形県	直接	山形県	高潮	-	鼠ヶ関港海岸 防潮堤整備	胸壁 L=500m	鶴岡市						0	
A09-003	海岸	一般	山形県	直接	山形県	高潮	-	酒田港海岸 西護岸補修	護岸補修 L=143m	酒田港・北港地区				■	30		
合計											256						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	R1	R2	R3			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	R1	R2	R3			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	R1	R2	R3			
合計																	
A'	0百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))					0.0%						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		加茂港の防潮堤が完成したことで、L1津波に対する安全性が確保された。 老朽化の進んだ海岸保全施設について、補修工事が進捗し、安全性が向上し長寿命化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	<p>(特記事項)</p> <p>鼠ヶ関港海岸防潮堤については、事業計画箇所 の現地調査等において、現況施設高がL1津波高さを満足していたことから整備不要となった。そのため、事後評価における定量的指標の算定式にはこれを含めず に評価した。</p> <p>計画事業費と執行事業費は同程度であったものの、現地の詳細調査により工法を変更し、施工単価が安価 になったため、施工延長を増工し事業が進捗した。</p>
		最終実績値	100%		
	指標②	最終目標値	24%		
		最終実績値	75%		
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>加茂港の防潮堤が完成したことで、L1津波に対する安全性が確保された。 老朽化の進んだ海岸保全施設について、補修工事が進捗し、安全性の確保や長寿命化に資した。 老朽化対策については、引き続き計画的に進め海岸施設の安全性の確保に努めていきたい。</p>					